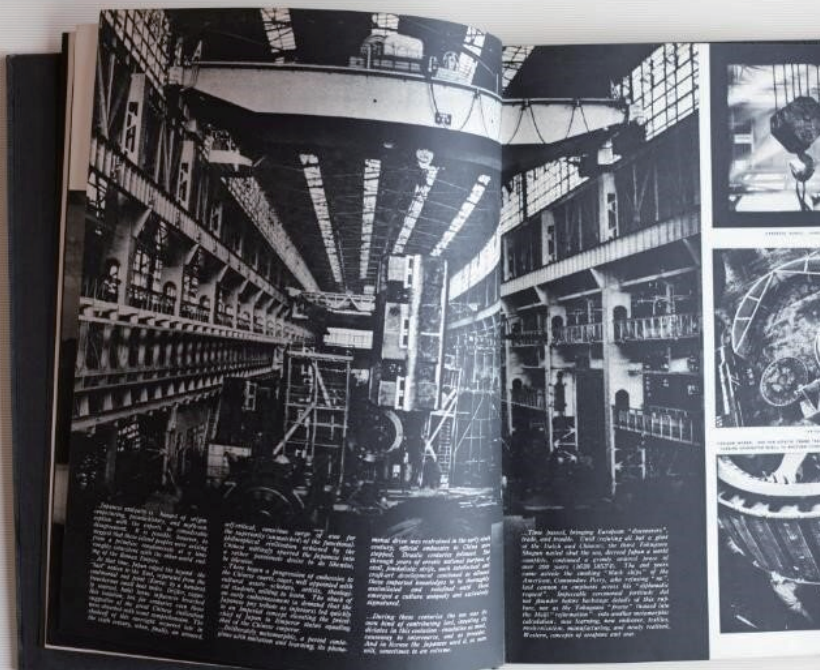


ユージン・スミスが撮った日立 HITACHI

茨城大学の文学研究者たちが読み解く フォトエッセイの価値

主催 茨城大学地球・地域環境共創機構 (GLEC)

写真：松本美枝子



米国の写真家ユージン・スミス (1918-1978)。水俣病の深刻な状況を世界に伝えたことでも知られるスミスは、それに先立つ1960年代に日立製作所からの依頼を受けて日立を訪れ、「Japan... a chapter of image」というフォトエッセイを制作しています。同社の工場だけでなく、近代化が押し寄せる港町・日立の人びとの暮らしも独自の目線で捉えたモノクロームの写真と、英文のエッセイ。スミスは変わりゆく日立の姿に何を見ようとしていたのか。またこの貴重な遺産を私たちはどう引き継ぐのか。茨城大学の文学研究者たちが読み解きます。

日時

11月19日(土) 14:00~15:30 (13:45 開場)

会場

日立オリジンパーク 小平記念館 (アネックス) Origin Hall
(日立市大みか町 6-19)

定員

50名 (オンライン配信はありません)

※日立オリジンパーク見学者用駐車場はご利用いただけません。
現地にて別の駐車場をスタッフがご案内いたします。

ユージン・スミスと日立—ユージン・スミスの日立製作所関連写真について—

大森 潤也 (日立市郷土博物館 学芸員)

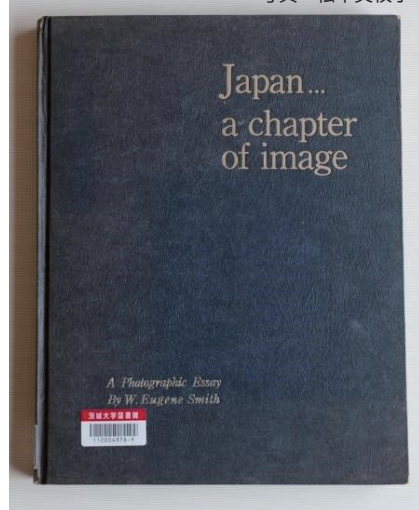
茨城大学の文学研究者たちが読み解くフォトエッセイの価値

- ①アメリカ文化・文学研究者が読み解く「ユージン・スミス写真集」
—ピッツバーグと水俣を結ぶ日立：土地・人・フォトエッセイ—
君塚 淳一 (茨城大学教育学部教授/アメリカ文学)
- ②地域にとっての「ユージン・スミス写真集」
西野 由希子 (茨城大学人文社会科学部教授/中国文学)

茨城大学と我が町・日立市—コメントとして—

鎌田 賢 (茨城大学工学部教授・副学部長)

写真：松本美枝子



▲フォトエッセイの実物を展示
お手に取ってご覧いただけます

事前のお申込みを
お願いいたします

- ①WEB フォームからのお申込み ▶ QRコードを読み込み
- ②お電話・メールでのお申込み・お問合せ
▶ 茨城大学地球・地域環境共創機構 (GLEC)
TEL: 029-228-8787
E-mail: r4_esmith@m.ibaraki.ac.jp

